

平成 22 年 6 月 25 日

お客さま各位

一関信用金庫  
理事長 小野寺 勝宏

## 「地域密着型金融推進計画」の進捗状況について (平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月)

平素は格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当金庫の「地域密着型金融推進計画」に基づく、平成 21 年 4 月から平成 22 年 3 月までの取組み状況についてご報告いたします。  
当金庫は、地域経済の活性化を通じて社会に貢献していくことが、地域金融機関としての使命であると認識し、今後も「地域密着型金融」の強化に積極的に取り組んでまいります。



一関信用金庫

## ・ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

項目	取組方針	21年度実績
<b>創業・新事業支援</b>	政府系金融機関との協調による支援態勢の強化を図ります。 産学官の連携に向けた取組みを推進します。 創業等支援融資制度を見直し、利用推進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 業務提携している日本政策金融公庫と連絡協議会を定期的開催し、情報交換に努めました。 21年度 創業・新事業支援融資実績 (7件 174百万円)</li> <li>➢ 産学官連携の取組みとして、一関市貸し工場条例に基づく工場利用者審査委員会に庫内中小企業診断士1名を派遣し創業計画支援に関与しました。</li> <li>➢ 製造業を中心としたマッチング支援として、業務提携している財団法人岩手県南技術研究センター主催の「技術・情報交流フェア2010 in ICHINOSEKI」(22年2月開催)へ後援協力を行いました。</li> </ul>
<b>経営改善支援</b>	中小企業診断協会岩手県支部との連携強化を図り、金融面に留まらない経営改善指導を行います。 国、県の中小企業支援施策の積極的活用を推進します。 本部支援担当と営業店の連携強化による経営支援機能の拡充を図ります。 経営改善計画策定に係る相談・指導が行える人材の養成に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 経営支援部署の専任者が取引先企業への訪問による経営改善に向けた資金繰り指導を行い、経営改善計画策定指導実施しました。                  経営改善計画策定先数 2先                  ランクアップ先数 0先</li> <li>➢ 職員の経営改善計画策定能力向上を目的に中小企業経営改善支援実務研修を実施しました。                  平成21年度 受講者数 36名</li> </ul>
<b>事業再生</b>	岩手県中小企業再生支援協議会との一層の連携強化を図ります。 新たな再生手法の研究の為の人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 岩手県中小企業再生支援協議会を活用し、21年度は2社の再生支援に取り組みました。</li> <li>➢ 内1社について、岩手県の専門家派遣制度を活用した中小企業診断士の指導を受けた他、職員を1名出向させ、経営相談・経営指導等コンサルティング機能を発揮した支援に努めております。</li> </ul>
<b>事業承継</b>	各種研修会等へ積極的に参加し、事業承継に係る専門知識・ノウハウの習得に努めます。 「経営塾」を開塾し、次世代の若手経営者等の育成を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 次世代経営者の育成支援を目的に「いちしん経営塾」を21年5月に立ち上げました。                  塾生数 44名                  21年度 勉強会、ビジネスマッチ視察等計5回開催</li> </ul>

# 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

項目	取組方針	21年度実績
<b>目利き能力の向上をはじめ事業価値を見極める融資</b> (不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の徹底)	外部研修に職員を積極的に派遣し、目利き能力の向上に努めます。 ABL(動産・債権譲渡担保融資)の活用を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 東北地区信用金庫協会主催の「目利き力養成講座」に2名派遣し目利き能力向上に努めました。</li> <li>➢ FPの資格取得を推進し21年度はAFP1名・FP2級4名・FP3級2名が資格取得しており、職員の能力向上を図っております。</li> <li>➢ 「当座貸越(ABL専用型)」事務取扱要領を平成21年9月制定し、担当職員向けの説明会を開催いたしましたが、取扱実績はありませんでした。</li> </ul>
<b>中小企業に適した資金供給手法の徹底</b>	地域の活性化、街づくりを支援する融資商品を創設し、利用推進を図ります。 セーフティネット制度の啓蒙と、利用推進を図ります。 シンジケートローンへの参画に取組みます。 農業事業者向け融資の利用促進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 平泉の文化遺産の世界遺産登録を支援する「平泉世界遺産ローン」取扱実績20件/59百万円</li> <li>➢ 農業事業者向け融資「にない手ローン」取扱実績2件/12百万円</li> <li>➢ シンジケートローンの取扱実績2件/400百万円</li> <li>➢ 金融円滑化法の趣旨に則った中小企業向け貸付条件の変更等の取扱実績              申込受付112件/1,267百万円・実行78件/565百万円・審査中29件/685百万円(平成21年12月4日~平成22年3月31日現在)</li> </ul>

## 用語解説

シンジケートローンとは、企業の資金調達ニーズに対し複数の金融機関が協調融資団を組成し、同一の契約書による貸出等の信用供与を行う融資形態をいいます。

## ・地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

項目	取組方針	21年度実績												
<b>地域の面的再生</b>	<p>商工会、商工会議所との連携を強化し、地域活性化につながる金融サービスの提供をはじめ、各種事業への参画、人的貢献等を通じた地域支援に取り組めます。</p> <p>業界上部団体、関連機関との連携を密にし、地域活性化に寄与する情報を提供します。</p> <p>地域を担う経営者への支援強化を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 東北地区信用金庫協会主催による「ビジネスマッチ東北 2009」(21年11月開催)に当庫取引先2社が出展し、2社とも商談が成立しました。 商談成約件数 3件</li> <li>➢ 提携している中小企業診断協会岩手県支部主催による経営相談会に庫内中小企業診断士1名を派遣し相談機能の充実を図っております。</li> </ul>												
<b>地域活性化につながる多様なサービスの提供</b>	<p>多重債務問題への対応として、地公体との連携強化を推進いたします。</p> <p>外部専門家による各種セミナーを開催し、公的制度等に関する情報提供を行います。</p> <p>若年層及び高齢者への正しい金融知識の普及と金融防犯意識の啓蒙を致します。</p> <p>地球環境にやさしい商品・サービスの提供を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 相互扶助・非営利の理念に基づく協同組織金融機関として、多重債務問題解決に向けた相談機能の発揮が重要であると認識し取り組みました。また、多重債務者の救済を目的とした融資商品「一信多助」を債務整理者の生活改善支援にも利用できるよう改正し、利便性の向上に努めました。  <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>21年度 相談件数</td> <td style="text-align: right;">41件</td> <td>解決件数</td> <td style="text-align: right;">21件</td> </tr> <tr> <td>融資実行件数</td> <td style="text-align: right;">8件</td> <td>融資実行金額</td> <td style="text-align: right;">30,940千円</td> </tr> <tr> <td>解決率</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">51.22%</td> </tr> </table> </li> <li>➢ 金融教育推進として、学校等への訪問による「しんきんマネースクール」を2回実施しました。</li> <li>➢ 居宅介護支援事業を行うNPO法人に対する融資に取り組みました。</li> <li>➢ 関係機関(一関市、一関商工会議所)と連携を図り、商店街の魅力情報の発信による地域のコミュニティの場を提供することで商店街の活性化を図ることを目的とした地域商店街活性化事業の計画策定支援及び事業の一環として実施した環境リサイクル事業にボランティア参加しました。</li> </ul>	21年度 相談件数	41件	解決件数	21件	融資実行件数	8件	融資実行金額	30,940千円	解決率	51.22%		
21年度 相談件数	41件	解決件数	21件											
融資実行件数	8件	融資実行金額	30,940千円											
解決率	51.22%													

## ・協同組織金融機関としての取組み

項目	取組方針	21年度実績
身の丈にあった収益管理やITの活用等を含めた態勢整備	信用コストを適正に加味した貸出金利の設定など収益管理態勢の整備を図ります。 ITの活用促進により顧客サービス機能強化に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 信用格付、自己査定精度を向上させ、SDBを活用した貸出基準金利の自金庫モデルを作り検討を重ねておりますが、運用には至っておりません。</li> <li>➢ 「おサイフケータイ」機能を利用した電子マネーチャージサービスを開始しました。</li> </ul>
利用者からの評価を業務に適切に反映するための態勢整備	お客様のニーズに対応した商品、サービスの提供を行うことで地域の皆様に安心してご利用頂ける金融機関を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ お客様満足度調査を平成21年9月～10月に実施し、調査結果にもとづくお客様のご意見・ご要望の分析・検討を行いました。</li> <li>➢ お客様のご意見・ご要望を常に受付可能にするために、全店舗窓口・ATMコーナーにフリーコメント記入方式のご意見・ご要望カードを設置し、ご意見・ご要望の分析・検討を行いました。</li> </ul>
ガバナンスの強化	総代会の機能向上に向けた取組みを推進します。 今後もより一層地域の皆様に分かりやすい情報の開示に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 総代会制度についてご理解を頂くためにディスクロージャー誌に分かりやすく内容を開示しました。</li> <li>➢ 総代会開催前に、各地区の総代を対象に役員が決算内容、事業計画等を説明する地区別懇談会を開催いたしました。</li> <li>➢ 会員制度についてのご理解を頂くために、会員加入時にパンフレットを配布しご説明するとともにホームページにはQ&amp;Aを掲載いたしました。</li> </ul>
リスク管理態勢の充実	ALM委員会を通して統合的リスク管理の把握に努めます。 信用リスク、市場リスク管理態勢の充実に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 監査部にリスク監査担当を配置するとともにミドル部門では信用リスク、市場リスクにおいてストレステストを実施し、配賦資本との対比を開始いたしました。</li> <li>➢ 信用リスクの計測において、新たな抽出対象による計測を加え潜在的リスクの計量化に努めました。</li> </ul>
法令等遵守の徹底	金庫内のコンプライアンスの意識を高め、徹底する庫内風土の醸成を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 役職員を対象に外部講師によるコンプライアンス講習会を実施するとともに各課店による勉強会を年4回実施いたしました。</li> <li>➢ お客様の利益を不当に害するおそれのある取引の管理のために、利益相反管理態勢を構築いたしました。</li> </ul>